



タイトル Title	表2. 統一地方選挙前半(2019.4.7投票)の6政令市長選挙における漸進的教育無償化関連の公約一覧
著者 Author(s)	渡部, 昭男
掲載誌・巻号・ページ Citation	高等教育における経済的負担軽減及び修学支援に係る法・制度・行財政の日韓比較研究,:
刊行日 Issue date	2019-04
資源タイプ Resource Type	Research Paper / 研究報告書
版区分 Resource Version	author
権利 Rights	
DOI	
JaLDOI	
URL	<a href="http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle_kernel/81011883">http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle_kernel/81011883</a>

JSPS 科研費（課題番号 19K02864、研究代表者：渡部昭男、2019-21 予定）に係る「選挙公約」調査  
 表 2. 統一地方選挙前半（2019.4.7 投票）の 6 政令市長選挙における漸進的教育無償化関連の公約一覧

(2019.4.7 作成)

市	候補者氏名 *届出順 (所属等)	漸進的教育無償化・子育て・若者等に係る公約・マニフェスト等からの抜粋 *漸進的教育無償化に直接触れた事項を色文字&下線処理 (出典：ウェブにアップされた各候補者の「公約」等／それがない場合は選挙管理委員会「選挙公報」で補足)
1 札幌	秋元 克広 (無現)	<p>○すべての子どもたちが健やかに育つ街をつくります 子ども・教育</p> <p>子どもは社会の宝であり、一人ひとりが持つ可能性は無限です。札幌市がめざす「自立した札幌人」の育成に向けて、学習や文化活動、スポーツをはじめとした多様な学びを支え、自ら学び、自ら課題を解決する力を培い、豊かな心と健やかな身体を育む教育を推進します。医療的ケアや子どもの貧困問題など様々な困難を抱える子どもたちを含め、誰もが健やかに育ち、学べる環境を整備し、一人ひとりを大切にしたい取り組みを進めます。</p> <p>また、アジアのウィンタースポーツの拠点都市として、次世代におけるウィンタースポーツの裾野拡大を図るとともに、さっぽろっ子の優れた能力を引き出し、トップアスリートを育てる取り組みを進め、札幌から世界へと羽ばたかせます。</p> <p>○子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校にまちづくりセンターや児童会館等を併設し、多世代交流を促進する地域の新たな拠点づくりを計画的に進めていきます。</li> <li>・増加する児童虐待に対応するため、第二の児童相談所を開設します。また、児童相談所や区の家児児童相談室の機能と専門性を強化します。</li> <li>・医療や障がい福祉、保育、教育など関係分野の連携体制を構築し、医療的ケアを要する子どもたちへの支援の充実を図り、保護者の負担軽減を図ります。</li> </ul> <p>○子どもの貧困対策の強化と「学び直し」の機会をつくります</p> <p><u>・経済状況によらず安心して学べるように、生活困窮世帯等の子どもの学習支援や奨学金制度など就学支援の更なる拡充を図ります。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に困りごとを抱える子どもや家庭の早期把握と必要な支援につなげる仕組みを全区で展開するほか、子どもの居場所づくりを担う「子ども食堂」を支援します。</li> <li>・様々な事情により、学校に行かないまま中学を卒業した方や小・中学校での就学機会が得られなかった方などに対し、「学び直しの場」を提供するため、都心部に公立夜間中学を設置します。</li> </ul> <p>○子どもの多様な学びを支える活動を充実させます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちにきめ細かな指導を行うため、少人数学級の対象学年を拡大するなど少人数教育の一層の充実を図ります。</li> <li>・学校と地域が連携し、義務教育の9年間を通して子どもを見守り育てる連続性のある教育をすべての市立小・中学校に導入します。</li> </ul>

	<p>また、より高い効果が期待できる地域において、小中一貫校の設置を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の札幌のまちづくりを担う人材を育てるため、社会の多様なニーズに対応した専門学科やコースの設置を検討し、特色ある市立高校の改革を推進します。</li> <li>・人と動物が幸せに暮らすまちの実現に向けて、大学等と連携し、動物愛護の普及啓発や教育の充実を図ります。また、犬や猫の殺処分ゼロや収容中の死亡を減らす取り組みを引き続き進めます。</li> <li>・種の保存や環境教育などの動物園の役割を示し、動物福祉に配慮した運営をめざす「動物園条例」を制定します。</li> </ul> <p>○子どものスポーツ振興に努めます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌から次世代のメダリスト輩出をめざして、ウインタースポーツアスリートをサポートする取り組みを強化します。</li> <li>・中学校の運動部活動への支援強化として、アスリート派遣の拡大や指導経験者がいない学校などへの外部人材の活用を図ります。また、子どもの体力向上に向けた取り組みの充実を図ります。</li> <li>・子どもたちがウインタースポーツに親しめるように、学校におけるウインタースポーツ学習を支援するとともに、市内のスキー場やスケート場の利用促進を図ります。</li> </ul> <p>○子どもが安心して暮らせる環境をつくります</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障がいや肢体不自由のある子どもが学校生活を送る上で必要な支援を充実させるため、学びのサポーター制度の更なる拡充を図ります。</li> <li>・いじめの早期発見や自殺の未然防止に向けて、SNSを活用した相談方法を導入するなど相談窓口を充実させるとともに、学校における相談体制の強化を図ります。</li> <li>・「学びの支援総合センター」を開設し、障がいや不登校、日本語の指導が必要な子ども等への支援を充実します。また、フリースクールの活動を引き続き支援します。</li> <li>・地域内の企業や家庭の協力による「子ども 110 番の家」の取り組みや、町内会等における防犯カメラの設置を支援し、地域ぐるみで子どもを見守るまちづくりを進めます。</li> </ul> <p>(出典：「6つの道標」 <a href="http://sapporo-akimoto.jp/policy">http://sapporo-akimoto.jp/policy</a>)</p>
<p>渡辺 達生 (無新)</p>	<p>くらしと福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所、特養ホームの建設をすすめます。</li> <li>・<u>給付型奨学金を拡充します。</u></li> </ul> <p>(出典：札幌市選挙管理委員会「選挙公報」 <a href="http://www.city.sapporo.jp/senkan/documents/shicho-kouhou.pdf">http://www.city.sapporo.jp/senkan/documents/shicho-kouhou.pdf</a>)</p>

2 相 模 原	本村賢太郎 (無新)	<p>◆つくる② 子どもたちが元気、子育て世代が幸せ《教育、子育て》</p> <p>15)中学校のデリバリー給食を見直し、本来の親子方式を検討します。</p> <p>16)学校給食における地産地消を推進します。</p> <p>17)科学技術に強い人財を育てます。科学技術に強い市立高校の設立を、県立高校再編の動きと合わせて検討します。</p> <p>18)英語教育におけるラウンドシステム（教科書を何度も繰り返し使 いながら、英語 4 技能の総合的定着を目指す学習方法）を検討します。</p> <p>19)インクルーシブ教育を拡充し、世界が人種 ・文 化、性など多様であることを肌感覚で理解する人財を育てます。</p> <p>20)藤野をはじめとする市内在住の芸術家ネットワークをデータベース化し、小学校に芸術（絵画、音楽、演劇など）を教えにいく環境を整備することで、子どもたちが本物の芸術に触れる機会を増やし、地域文化教育に注力 します。</p> <p>21)きめ細やかな指導などを行うために、教員が子どもたちと向き合う時間の確保、少人数学級を推進します。</p> <p>22)基礎学力定着のため 、習熟度に合わせた授業等の導入を検討します。</p> <p>23)産前産後ケアを充実させ、孤独な子育てにならないようサポートします。</p> <p>24)保育所待機児童をゼロにするため、環境整備に取り組みます。</p> <p>25)放課後児童クラブおよび放課後子ども教室を拡充します。</p> <p>26)いじめや不登校対策として、スクールソーシャルワーカーや相談窓口を拡充します。</p> <p>27)JAXA や国民生活センターなどと連携した生涯学習を行います。</p> <p>28)部活動外部指導員を公募によって選定します。</p> <p>29)市立小学校においてエアコンを早期に全校設置します。</p> <p>30)学校の老朽化対策や耐震化対策などを促進します。</p> <p>31)学校の特別教室等へのエアコン設置を検討します。</p> <p>32)病児保育を拡充します。</p> <p>33)駅前に子育て包括ステーションを設置し、幼稚園や保育園など包括して相談できる体制を構築します。</p> <p>34)保育士に選んでもらえる相模原市にするため、独自の手当てを見直します。</p> <p>35)子どもが一緒でも使いやすいトイレがすぐにわかるよう、マップやアプリなどの作成を行います。</p> <p>36)あれもこれもしてはダメな公園ではなく、のびのびと子どもたちが遊べる場を確保します。</p> <p>(出典：「政策集 2019」 <a href="http://k-motomura.jp/wp/wp-content/themes/kmotomura/lp01/policy.pdf">http://k-motomura.jp/wp/wp-content/themes/kmotomura/lp01/policy.pdf</a>)</p>
------------------	---------------	---

宮崎雄一郎  
(無新)

[乳幼児期から就学期までの切れ目のない 子育て教育支援に全力]

○乳幼児期：希望者みんなが認可保育園・認定こども園に入れる環境を

- 全家庭対象「すこやか赤ちゃん訪問」→これからも継続
- 多子世帯支援→これからも継続
- 保育園待機児童ゼロ実現（0～1歳・病児保育の枠をアップ）→保育施設の大幅増で待機児童ゼロ達成
- 児童館事業を発展（空き家の活用）→全域に増

○就学前：子どもの成長に応じたきめ細やかな 教育と居場所の確保

● 学童クラブ（3～12歳まで）受け入れ枠拡大と放課後等居場所事業

● 平成31年度から全ての学童クラブで本格実施

● 学童クラブ受入枠、放課後等居場所事業の実施枠の拡大

● 学校教育・健全育成

● 体育館・特別教室にもエアコン設置

● 小中学校における保護者負担経費軽減

● 防災教育を本格導入

● 全小中学校のICTを活用した教育 小中学校のタブレット端末導入を段階的に拡大し、授業で一人一台分を配備

● 医療費無料（所得制限の撤廃）

[子どもは『宝』みんなで育てます 子育て・教育改革]

◎政令市下位の学力からの脱却～日本一の秋田に学ぶ

◎生きる力、国際性、体力を重視！創造力1位へ！

◎幼保連携と小中一貫校、特色あるコミュニティスクールを！地域の人材を教育に活かす！

◎専門職大学のような、技術者マイスター養成校を！

◎子育て環境の整備

● 保育園、こども園（駐車場付き）を駅や駅前に！

● 病児保育、時間延長サービスを！

● 小学校6年生までの放課後見守り教室を！

● 中学生まで美味しい全員給食を！

● 体育館・特別教室のエアコン含む環境カイゼン！

● 赤ちゃん一時預けチケットを！

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スクールバスの導入！</li> <li>●楽しい公園、ボールパークの充実</li> </ul> <p>(出典：「政策」 <a href="https://www.m-yuichiro.com/manifesto/">https://www.m-yuichiro.com/manifesto/</a>)</p>
<p>加山 俊夫 (無現)</p>	<p>○基本政策Ⅰ 教育</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <u>新たな給付型奨学金の創設</u></li> <li>2. <u>高校就学が経済的に困難な生徒へ就学資金・入学支度金を給付します</u></li> <li>3. 学力保障</li> <li>4. 学習支援員の配置、放課後の補習を行います</li> <li>5. 外国人英語指導助手（ALT）を増員します</li> <li>6. 不登校の相談・支援体制の充実</li> <li>7. スクールソーシャルワーカーを増員します</li> <li>8. 教育環境の整備</li> <li>9. 校舎やトイレ、屋内運動場の改修に取り組みます</li> <li>10. 空調設備の設置を推進します</li> <li>11. 公民館の整備</li> <li>12. 麻溝公民館、清新公民館の大規模改修を進めます</li> </ol> <p>○基本政策Ⅱ 子育て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育所待機児童対策</li> <li>2. 保育所受入枠を拡大します</li> <li>3. 保育人材の確保、保育の質の向上を図ります</li> <li>4. 児童クラブ待機児童対策</li> <li>5. 待機児童の解消、受入年齢を小学校6年生まで拡大します</li> <li>6. 民間児童クラブや幼稚園との連携を図ります</li> <li>7. 小児医療費助成事業</li> <li>8. 通院対象年齢を中学校3年生まで拡大します</li> <li>9. 新生児聴覚検査事業</li> <li>10. 全ての新生児を対象に検査費用を助成します</li> </ol>

		<p>11.子育て支援センターの設置</p> <p>12.妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行います (出典：「基本政策」 <a href="https://syncreaweb.sakura.ne.jp/kayama/市民の皆さまと共にさがみはらを。/">https://syncreaweb.sakura.ne.jp/kayama/市民の皆さまと共にさがみはらを。/</a>)</p>
	八木大二郎 (無新)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>給食費の無料化</u>と中学校給食の充実</li> <li>・ <u>給食は教育と一体。給食費の無料化に向け検討を開始。</u> 中学校給食は調理方式への見直しを含め充実。</li> </ul> <p>(出典：「政策・リーフレット」 <a href="http://daijiro21.com/vision/">http://daijiro21.com/vision/</a>)</p>
3 静 岡	天野 進吾 (無新)	<p>3. 未来の発展に結びつく種をまきます!!</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 富士山静岡スタジアムの実現</li> <li>・ 子ども医療費の無償化</li> </ul> <p>(出典：静岡市選挙管理委員会「選挙公報」 <a href="http://www.city.shizuoka.jp/000812683.pdf">http://www.city.shizuoka.jp/000812683.pdf</a>)</p>
	田辺 信宏 (無現)	<p>守る・はぐぐむ・ととのえる！——こども子育て・教育環境!</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもたちが「よく育つ」環境を創ります。</li> <li>・ 放課後自動クラブの待機ゼロを実現します。</li> <li>・ 幼小中の教室にエアコンを完備します。</li> </ul> <p>(出典：「理念と政策」 <a href="https://tanabe2019.com/policy/">https://tanabe2019.com/policy/</a>)</p>
	林 克 (無新)	<p>#若者が希望をもてる街へ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 赤ちゃんからお年寄りまで、安心してらせる街</li> </ul> <p>(出典：同上「選挙公報」)</p>

4 浜 松	鈴木 康友 (無現)	<p>○こども第一主義で未来をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・待機児童ゼロ作戦</li> <li>・充実した相談体制の構築</li> <li>・仕事と子育てが両立できる環境づくり</li> <li>・市民協働による人づくり</li> <li>・社会の変化に対応する学力の育成</li> <li>・発達支援教育の充実</li> <li>・いじめゼロ作戦</li> </ul> <p>(出典：「マニフェスト」(主要見出し))</p> <p><a href="http://www.yasutomo-net.com/plan2016/%EF%BD%89%EF%BD%8D%EF%BD%81%EF%BD%87%EF%BD%85/20150206_A4yasuto moyarimasu_list.pdf">http://www.yasutomo-net.com/plan2016/%EF%BD%89%EF%BD%8D%EF%BD%81%EF%BD%87%EF%BD%85/20150206_A4yasuto moyarimasu_list.pdf</a></p> <p>～～～</p> <p>2. 子育てから教育まで 続「子ども第一主義」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事と子育ての両立支援</li> <li>・安全安心な教育環境の構築</li> <li>・将来を担う高校生の育成・支援(高校生医療費助成)</li> </ul> <p>(出典：浜松市選挙管理委員会「選挙公報」)</p> <p><a href="https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/senkan/20190407/documents/sichoukouhou.pdf#view=FitV">https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/senkan/20190407/documents/sichoukouhou.pdf#view=FitV</a></p>
	野沢 正司 (無新)	<p>子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認可保育園を増設し、待機児童を解消</li> <li>・18歳までの子どもの医療費を完全無償化</li> <li>・学童保育所の増設</li> </ul> <p>(出典：同上「選挙公報」)</p>



	<p>山本遼太郎 (無新)</p>	<p>【子育て世代を全力で応援】</p> <p>→ 出生率「2.07」を目指す（現在 1.47）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園の待機児童をゼロに</li> <li>・ 保育所の整備及び小規模保育事業・事業所内保育事業の支援</li> <li>・ 私立幼稚園が行う長時間の預かり保育推進のための支援制度の充実</li> <li>・ 保育士の処遇改善などによる保育士不足の解消</li> <li>・ 出産助成金制度の拡充</li> <li>・ 母子・父子家庭への児童手当の拡充</li> <li>・ 個性的な教育の実現</li> <li>・ 県と連携し、子ども医療費助成を 18 歳まで拡大</li> </ul> <p>→ こども達の笑顔あふれる公園づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元のニーズに応えた公園の整備推進</li> <li>・ 「パーク&amp;レクリエーション」の導入</li> <li>・ 整備して終わりではなく、地域共同でのアクティビティを充実させます。</li> </ul> <p>(出典：「政策・理念」 <a href="http://yamamoto-ryotaro.com/article/">http://yamamoto-ryotaro.com/article/</a>)</p>
<p>5 大 阪</p>	<p>柳本 顕 (無新)</p>	<p>02：福祉・女性施策</p> <p>子どもの貧困問題・虐待問題に真正面から向き合う</p> <p>全世代に健康と福祉を・・・「誰一人孤立させない」誰もが住み慣れた地域で安心して生活できる仕組みを実現します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育て支援のワンストップ窓口を充実</li> <li>・ 病児・病後児保育事業の拡充</li> <li>・ 子ども医療費助成制度の所得制限撤廃</li> <li>・ 児童相談所の増設</li> <li>・ 障がい者支援とともに生きがい・やりがいが感じられる社会の実現</li> <li>・ 高齢者に優しい敬老優待パスの存続と地域での「居場所づくり」</li> <li>・ 認知症研究が進む中での治療・施設整備</li> <li>・ 年代に関わらず女性の社会参加を促進し、元気で輝く大阪市の実現</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職はじめ職場復帰支援制度の拡充、雇用環境の改善を目指す</li> <li>03：子供・教育</li> <li>教育現場の正常化</li> <li>すべては次世代をにいう子どもたちのために。</li> <li>教育現場を再生させます。行き当たりばったりの教育改革では学力向上は望めません。"教育は国家百年の計"長期的な視野で子どもを主役として教育改革で教育現場の立て直しを図ります。</li> <li>・現場本位の教育委員会に</li> <li><u>・現場に即した質の高い幼児教育の無償化</u></li> <li>・老朽化した学校施設の建て替えや補修など教育環境の整備</li> <li>・ICT 教育はプログラミング教育へと進化させる</li> <li>・基礎学力向上は読み・書き・そろばんから</li> <li>・コミュニケーションを重視した英会話力の向上をめざす</li> <li><u>・子どもの個性を伸ばすためにバウチャー制度を小学生にも導入</u></li> <li>・教育の質の向上は教員の確保、資質向上とやる気</li> <li>・学校現場からいじめを追放…教育委員会が学校・地域に出向くしくみづくり</li> <li>・男性の子育て・教育への参加の促進</li> <li>・「本物にふれる機会を」…市内文化施設（文楽・美術館など）を入場料無料に！</li> <li>（出典：「公約」<a href="https://saisei.osaka/kouyaku/">https://saisei.osaka/kouyaku/</a>）</li> </ul>
<p>松井 一郎 (大維新)</p>	<p>政策#05 教育・子育て・労働・社会保障</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 経済格差が教育格差とならぬよう教育機会平等社会を実現する。</li> <li>2 教育予算の対 GDP 比を他の先進国並みに引き上げる。</li> <li><u>3 幼稚園や保育園をはじめ、全ての教育を無償化する。</u></li> <li>4 保育士給与の官民格差を是正し民間保育所の保育士の待遇を改善する。</li> <li>5 保育サポーター制度を導入する。</li> <li>6 労働市場のニーズを踏まえ、公的職業訓練を時代に即したものに直す。</li> <li>7 労働時間ではなく仕事の成果で評価する時間給から成果給へ。</li> <li>8 労働契約の終了に関するルールを明確化し、解雇紛争の金銭解決を可能にする。</li> </ol>

		<p>9 雇用の7割を担う中小企業の振興策を強化する。</p> <p>10 医療費に関わる消費税制の見直し。</p> <p>11 公的年金制度は払い損がなく世代間で公平な年金積立方式を導入する。</p> <p>12 高齢者の雇用を創出しつつ年金の支給開始年齢を段階的に引き上げる。</p> <p>(出典：「政策」 <a href="https://o-ishin.jp/policy/">https://o-ishin.jp/policy/</a>)</p>
6 広島	松井 一実 (無現)	<p>ワーク・ライフ・バランスのまちを実現しよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「保健師の地区担当制」の全区展開などにより、高齢者、子ども、障害者など支援が必要な住民をまるごと支える「地域共生社会」を実現します。</li> <li>・「高齢者いきいき活動ポイント事業」を充実し、高齢者の健康づくりと社会参加を促進します。</li> <li>・高度医療を担う「安佐市民病院（北部医療センター）」と、地域包括ケアを先導する「安佐医師会病院」を一体的に整備します。</li> <li>・待機児童の解消と幼児教育の充実を同時に進めるため、保育園と幼稚園の垣根を越えて、また、公立・私立の役割分担も念頭に、量的・質的なサービス向上を図ります。</li> <li>・「障害者差別解消条例（仮称）」を制定します。</li> <li>・市が率先して女性活躍の推進や長時間勤務の削減等に取り組み、民間に展開します。</li> <li>・人格形成に重点を置いた学校教育に向け、「いじめ」や「不登校」に対する学校の対応力を抜本的に強化します。あわせて、教員の働き方改革を推進します。</li> <li>・国際平和文化都市としての特性を活かし、実践的な会話ができる英語教育への転換を図るなど、学力向上対策を推進します。</li> <li>・中学校のデリバリー給食の課題解決や食育の充実など、市の給食提供体制を見直します。</li> <li>・「スポーツ王国広島」として、トップレベルの国際大会等の誘致を推進します。</li> <li>・東京オリンピック・パラリンピックに向け、メキシコ・キューバの代表チームと地元プロチームとのピースマッチを開催します。</li> <li>・広島交響楽団などによる様々なコンサートを展開し、シンフォニー・ホールの整備も視野に入れながら、「音楽のあふれるまちづくり」を推進します。</li> </ul> <p>(出典：「私のビジョン」 <a href="https://matsui.hiroshima.jp/visions">https://matsui.hiroshima.jp/visions</a>)</p>

<p>金子 和宏 (無新)</p>	<p><b>【②子供を応援する社会を作る】</b></p> <p>新しい時代を迎えるにあたり、日々の生活や社会は急速に変化しています。</p> <p>AI(人工知能)進化による雇用、就労の変化、さらには前例のない気候の変化による災害対応など、市政の迅速な判断と対応できる組織づくりは急務の課題です。</p> <p>時代の転換期では、過去の経験則の最適化よりも「ゼロからイチを生み出す能力」が求められます。</p> <p>子供達が活躍できる社会を作るには、新しい価値を生み出すための「環境づくり」が重要です。</p> <p>大量に溢れる情報の中で、何が重要かを判断する能力の基礎となるのは、「教育」だと考えます。</p> <p><b><u>【施策1】最先端の教育プログラムを子どもたちに無償で導入します。</u></b></p> <p><b>【施策2】</b> 芸術、スポーツ、文化など、様々な夢を目指す子供を助成する制度を作ります。</p> <p><b>【施策3】</b> 子育て地域リーダーを育成し気軽に相談できる体制を作ります</p> <p><b>【施策4】</b> 図書館や公民館の機能の見直しなど、学習環境を世界レベルに引き上げます。</p> <p>(出典:「3つの約束とその実現の方向性」 <a href="https://senkyo.starkaneko.jp/">https://senkyo.starkaneko.jp/</a>)</p>
<p>川后 和幸 (無新)</p>	<p>福祉とくらし</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財源をくらし・福祉・防災に</li> <li>・若者に雇用、子どもに保育・教育、高齢者に安心を</li> </ul> <p>(出典:広島市選挙管理委員会「選挙公報」 <a href="http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1301190672870/files/senkyokouhou.pdf">http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1301190672870/files/senkyokouhou.pdf</a>)</p>